

の繰上償還をしている結果、旧仁多町は百七億円余(七十三%)、旧横田町は四十七億円(五十四%)を国が負担し、実質は旧仁多町、旧横田町とも四十億七千万円の借入金残高となっております。

本町の実質公債費比率は二十四・四と高くなっておりませんが、歳入に対し借入金の返済や人件費等必ず支出する経費の割合

(経常収支比率)は八十八・〇%で、県下二十一市町村中二十位と低く、残りは出来るだけ基金に積み立てる等収入と支出をみながら行政執行をしております。

県内市町村の借入

金の実態について、夕張市の巨額負債隠しに使われた一時借入金等は、島根県において国、県の徹底した指導があり、例えば三月末に補助金が入らず一時借入して支払い、四月に補助金を受けて返済することはありますが、県下全市町村とも夕張市のような隠れ借金はないという情報

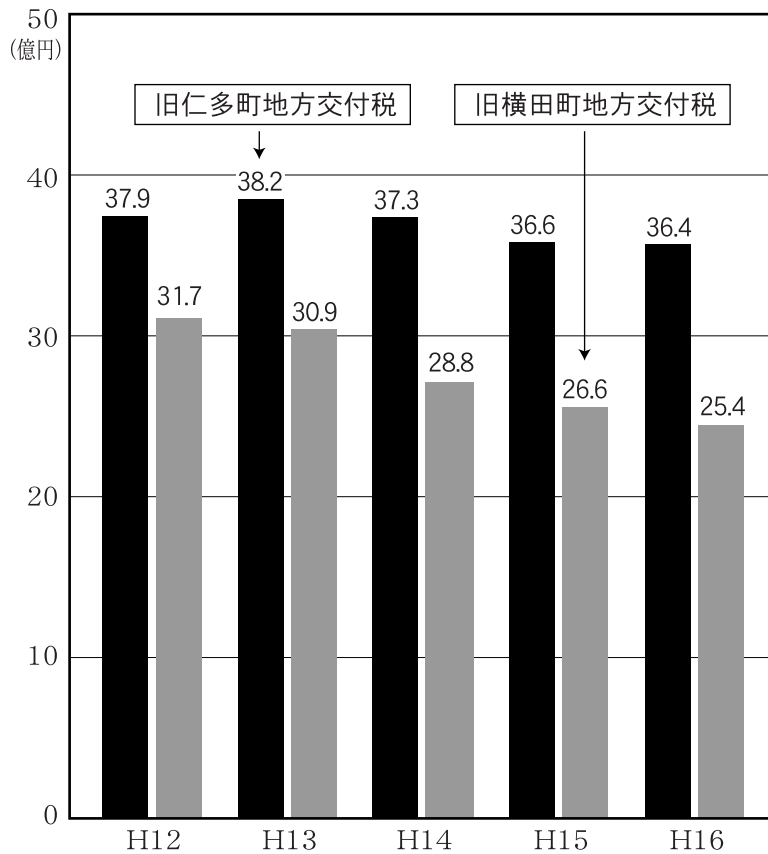
が公開されたと受けとめております。

今後とも、歳入・歳出の状況を常にしながら健全経営を堅持しつつ、町民要望の事業は補助金や有利な起債を積極的に活用しながら実施して参らねばと考えております。

市町村財政指標順位
(平成 17 年度末決算統計)

経常収支比率 比率の高い順		
1	知 夫 村	99.1
2	西ノ島町	98.3
3	吉 賀 町	97.9
4	川 本 町	97.0
5	大 田 市	96.9
6	益 田 市	96.6
7	雲 南 市	96.6
8	飯 南 町	96.3
9	美 郷 町	96.2
10	浜 田 市	95.6
11	邑 南 町	95.4
12	江 津 市	95.2
13	隠岐の島町	94.4
14	津 和 野 町	93.7
15	斐 川 町	93.3
16	出 雲 市	90.6
17	海 士 町	90.3
18	安 来 市	89.9
19	松 江 市	89.6
20	奥 出 雲 町	88.0
21	東 出 雲 町	87.9

危険ライン
経常収支比率：90%以上
警戒ライン
経常収支比率：80%以上



旧仁多町・旧横田町
過去5年間の地方交付税の推移

◎経常的な措置分は両町とも削減されていますが、借入に対する国の負担分が多く加算されているため、旧仁多町は地方交付税が多くなっています。また、旧仁多町には病院分、広域事務組合(ゴミ処理等)分、約2億8千万円が含まれています。